

常陸大宮市支所庁舎等複合施設整備基本計画(案)に対する意見募集の結果について

1. 意見募集の実施状況

- (1) 意見の募集期間：令和2年5月11日（月）～ 令和2年6月10日（水）
- (2) 意見の提出件数：17件
- (3) 意見の提出方法：FAX17件

2. 意見の内容および意見に対する市の考え方

No.	1
意見のタイトル	緒川支所の今後について
意見の内容 (原文)	緒川支所の機能は、支所庁舎の老朽化という点を考え、緒川総合センターに機能を移し、複合化すべきと考えます。また、今後、現在使用している支所庁舎は、保存、維持していくべきだと思います。理由としては、大子町の上岡小学校や、笠間市の筑波海軍航空隊記念館のように映画やドラマ等の病院や役所などのロケ地に十分適しており、観光資源としても活用することができるため、庁舎は保存、維持していくべきと考えます。
意見に対する 市の考え方	緒川支所庁舎は、建設から現庁舎が60年、増築庁舎が47年経過しており、現行基準による耐震強度を満たしておらず、耐震補強を行うには多額の経費を要することから解体する計画としています。 跡地の利活用につきましては、現庁舎のあり方を含めて地域の意見も伺いながら今後決定していく予定です。
No.	2
意見のタイトル	計画策定の趣旨
意見の内容 (原文)	「本計画では4つの各支所と公民館との再編、複合化を基本とした方向性を定め持続可能な地域拠点づくり・・・」などと趣旨が述べられていますが、住民が主人公という地方自治の本来の趣旨が生かされていない内容の計画（案）となっているように思われます。以上の点から見て、本所と支所の任務分担、支所の位置づけ等が、曖昧であり投資的経費の平準化に努めるとしているが、問題点が多い計画（案）となっています。計画全体を見ると、支所の建物（業務）を地域センターの一角にすると共に、支所の窓口業務をセンター内の支所で行うという内容のようで、これまで以上に、支所の果たす役割を軽視した考えに立脚した計画の内容ではないかと思えます。
意見に対する 市の考え方	支所と公民館との複合化を基本とし、地域行政の総括的役割や地域コミュニティー活動の拠点として活用をしていきます。生涯学習も含めた事業を総括的に実施することができるため、事業効果の拡大が図られるものであり、支所の位置づけや役割が低下するものではありません。